

北九州市の遊び場・学び場体験キャンペーンアンケート

報告書

平成 29 年 9 月

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本市への定住・移住促進のため、「北九州市の遊び場・学び場体験キャンペーン」において福岡都市圏住民から本市および本市のイメージや意見を聴取することで、市外在住者に対して本市の特性・魅力を伝える上での参考資料とする。

(2) 調査方法

以下の2種類の媒体において、施設やイベントで特典を受けられるクーポンを掲載するとともに、パソコン、スマートフォン、携帯電話用のURL（バーコード）を掲載し、インターネットでアンケートの回答を求めた。

- ①福岡市の小学校、幼稚園、保育園（約500か所）にパンフレットを配布
- ②西日本新聞社発行の情報誌「ファンファン福岡」

(3) 調査期間

平成29年7月21日～平成29年9月10日

(4) 回収結果

510件

(5) 実施体制

調査実施：北九州市企画調整局地方創生推進室

集計・分析：株式会社 北九州経済研究所

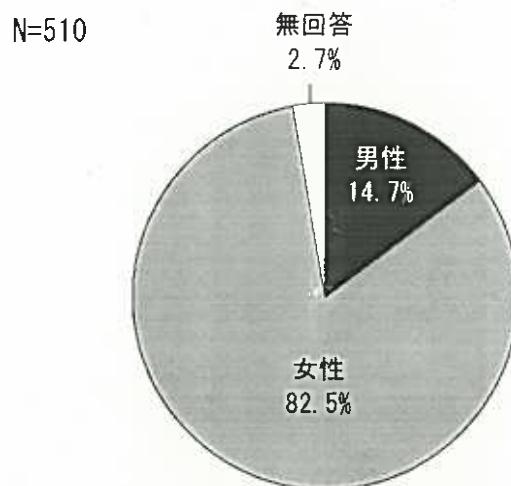
(6) 集計上の注意事項

- ・ 図表においては、回答者の数を「N」で表記した。
- ・ 比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問については、合計は原則として100%を超える。
- ・ クロス集計表の表側の項目については無回答があるため、回答者数の内訳の合計が全体の回答者数に一致しない場合がある。

2. 調査結果

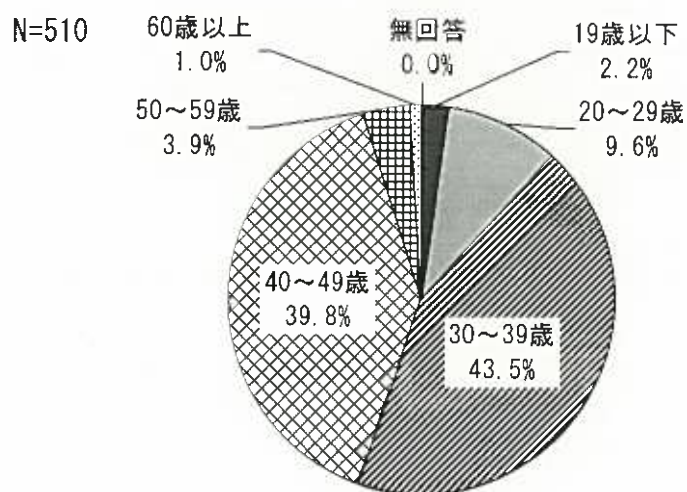
性別

アンケート回答者は、女性が82.5%、男性が14.7%となっている。



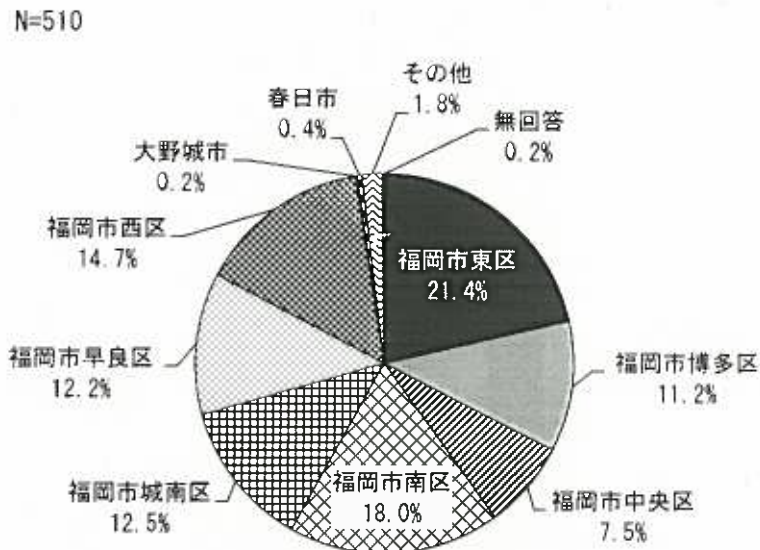
Q1. あなたの年齢を教えてください。

年齢については、「30～39歳」の割合が43.5%で最も高く、次いで「40～49歳」39.8%、「20～29歳」9.6%などとなっている。



Q2. お住まいのところを教えてください。

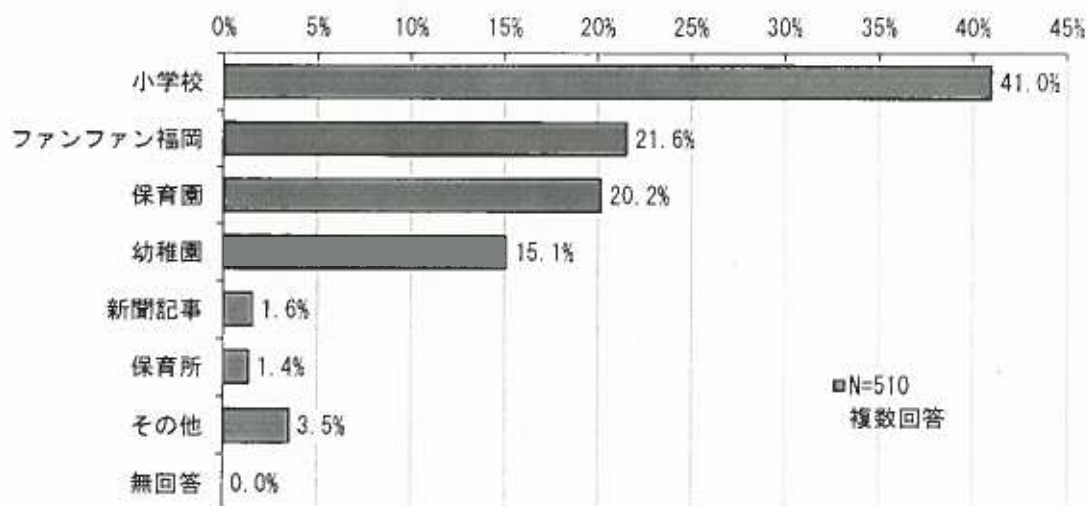
住所については、「福岡市東区」の割合が21.4%で最も高く、次いで「福岡市南区」18.0%、「福岡市西区」14.7%、「福岡市城南区」12.5%、「福岡市早良区」12.2%、「福岡市博多区」11.2%、「福岡市中央区」7.5%などとなっている。



Q3. 今回の「北九州市の遊び場・学び場体験キャンペーン」について、どこで知りましたか？

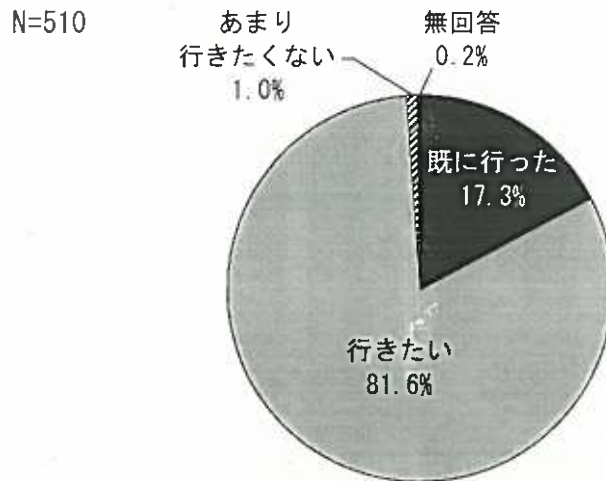
キャンペーンについてどこで知ったか尋ねたところ、「小学校」の割合が41.0%で最も高く、次いで「ファンファン福岡」21.6%、「保育園」20.2%、「幼稚園」15.1%などとなっている。

男女別にみると、男性では「ファンファン福岡」が38.7%で最も高く、女性では「小学校」の割合が43.5%で最も高くなっている。



Q 4. 今回の「北九州市の遊び場・学び場体験キャンペーン」の対象施設に行きますか？

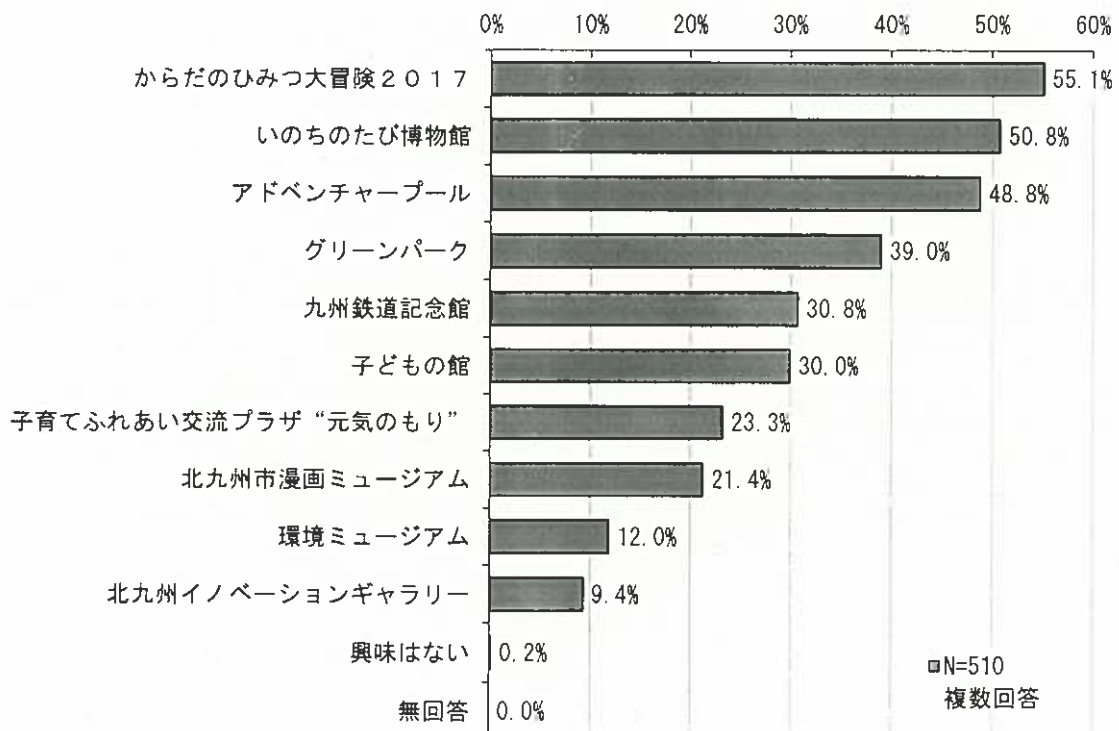
キャンペーンの対象施設に行くか尋ねたところ、「行きたい」の割合が81.6%で最も高く、次いで「既に行った」が17.3%となっている。



Q 5. 今回のキャンペーン対象施設で興味のある施設はどこですか。

興味のある施設については、「からだのひみつ大冒険2017」の割合が55.1%で最も高く、次いで「いのちのたび博物館」50.8%、「アドベンチャープール」48.8%、「グリーンパーク」39.0%、「九州鉄道記念館」30.8%、「子どもの館」30.0%などとなっている。

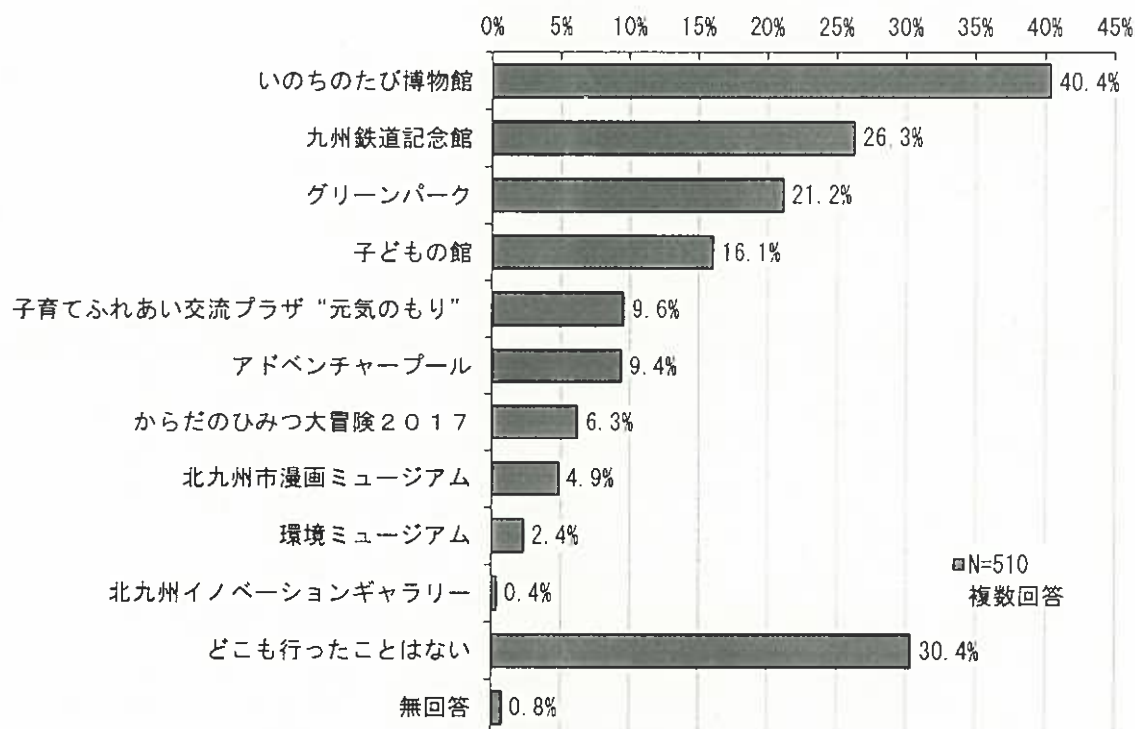
男女別にみると、「九州鉄道記念館」、「北九州市漫画ミュージアム」は男性の方が高く、「子育てふれあい交流プラザ“元気のもり”」は女性の方が高い傾向が顕著である。



Q6. 今回のキャンペーン対象施設の中で、以前にも行ったことのある施設がありますか。

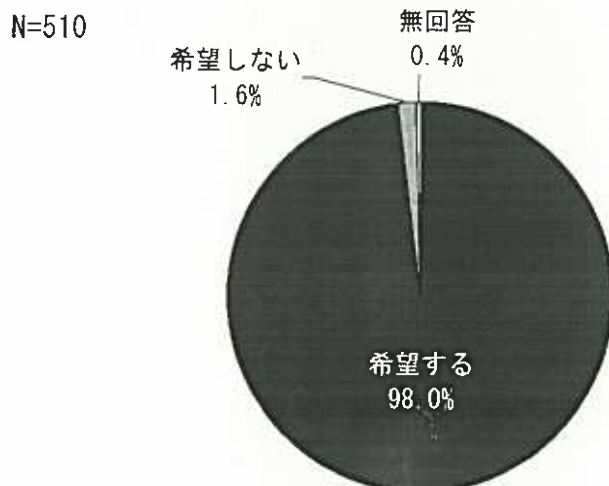
以前にも行ったことのある施設は、「いのちのたび博物館」の割合が40.4%で最も高く、次いで「九州鉄道記念館」26.3%、「グリーンパーク」21.2%、「子どもの館」16.1%などとなっている。また、「どこにも行ったことはない」は30.4%となっている。

男女別にみると、「いのちのたび博物館」は女性の方が10ポイント以上高くなっている。



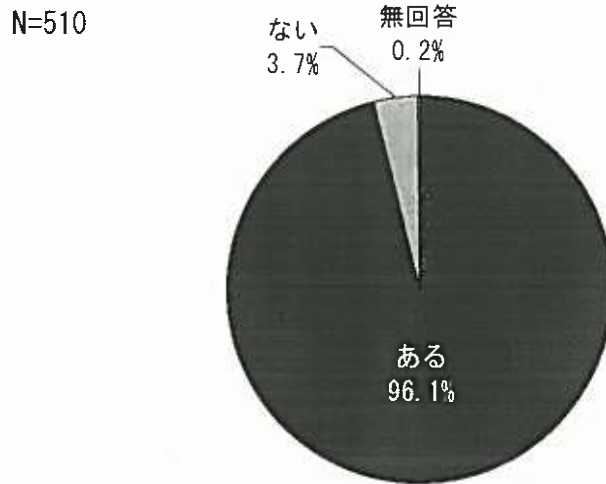
Q7. 今後、同じようなキャンペーンを希望しますか？

今後、同じようなキャンペーンを「希望する」との回答は98.0%を占めている。



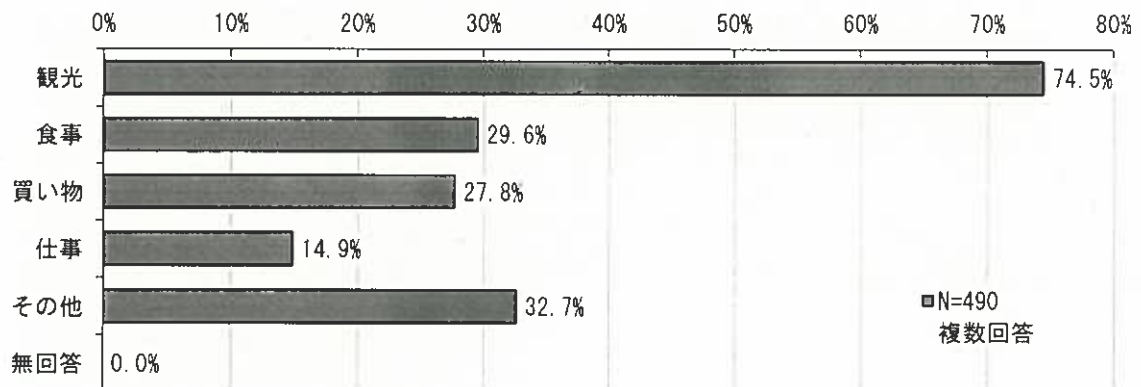
Q 8. 北九州市に行ったことはありますか？

北九州市に行ったことが「ある」人の割合は96.1%となっている。



Q 9. どのような目的で行かれましたか？

目的については、「観光」の割合が74.5%で最も高く、次いで「その他」32.7%、「食事」29.6%、「買い物」27.8%、「仕事」14.9%となっている。



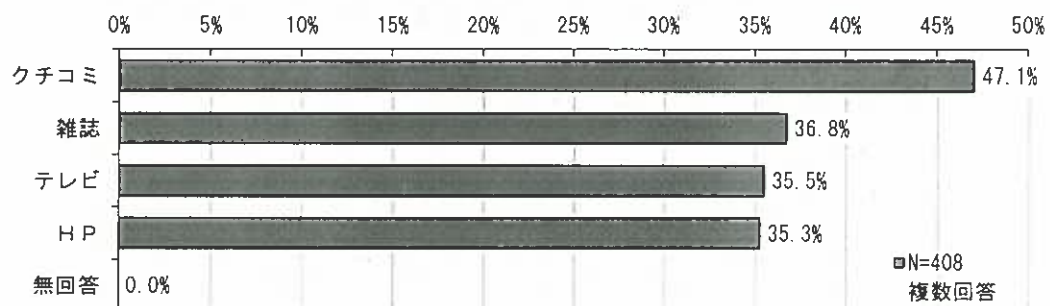
Q10. その情報は、どちらで入手されましたか？

情報の入手先については、「クチコミ」の割合が47.1%で最も高く、次いで「雑誌」36.8%、「テレビ」35.5%、「HP」35.3%となっている。

男女別にみると、女性では「クチコミ」が49.3%で最も高く、男性では「雑誌」、「HP」がいずれも43.3%で最も高い。

年齢別にみると、「30～39歳」では「クチコミ」が52.2%で最も高く、「40～49歳」では「雑誌」が41.9%で最も高くなっている。

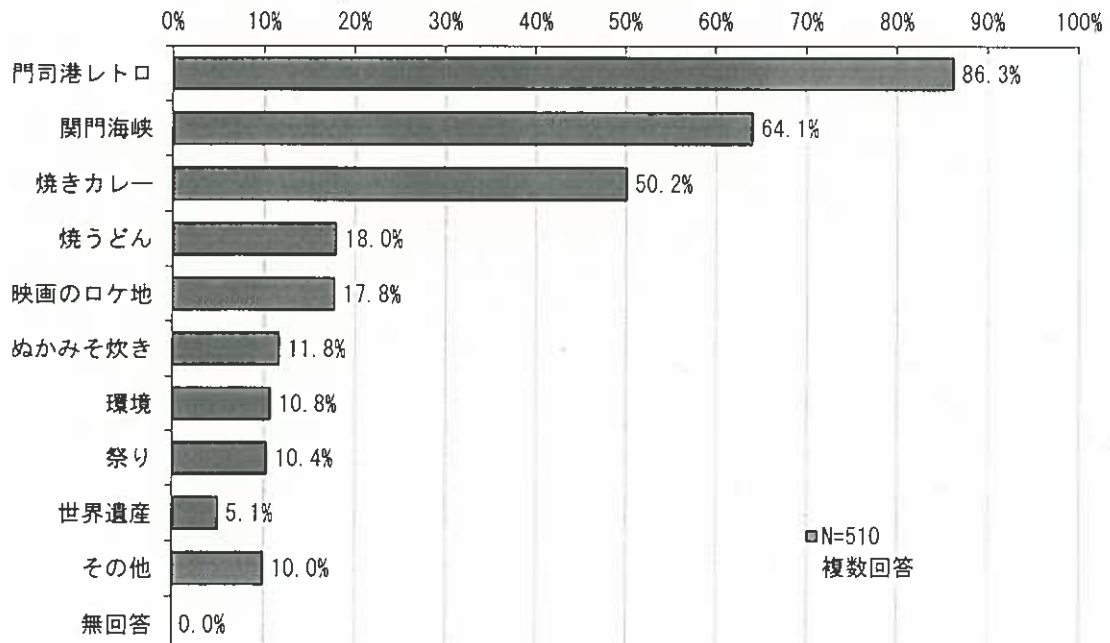
Q9の目的別にみると、「買い物」、「食事」を目的に行った人は、「クチコミ」の割合が比較的高い傾向がみられる。



Q11. 「北九州市」と聞いて思い浮かぶものは、次のうちどれですか？

「北九州市」と聞いて思い浮かぶものを尋ねたところ、「門司港レトロ」が86.3%で最も高く、次いで「関門海峡」64.1%、「焼きカレー」50.2%となっており、これら3つは5割を超え突出している。

男女別にみると、「焼うどん」、「環境」、「世界遺産」は男性の方が高く、「門司港レトロ」、「関門海峡」、「焼きカレー」は女性の方が高い高校がみられる。

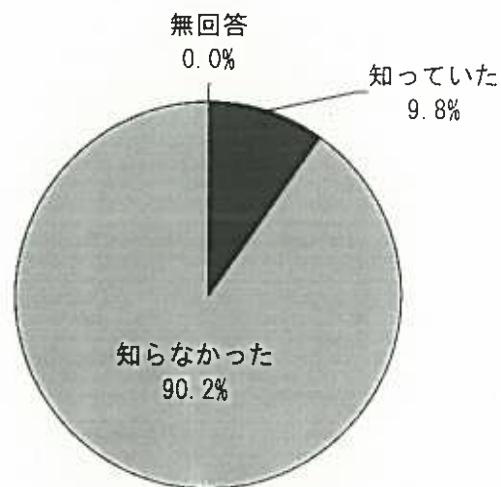


Q 1 2. 北九州市は、NPO 法人エガリテ大手前の行う「次世代育成環境ランキング」において、「病院・診療所が多い」「待機児童数が少ない」「小児医療の充実」などが評価され、6年連続でNo.1に選ばれていますが、このことをご存知でしたか。

NPO 法人エガリテ大手前の「次世代育成環境ランキング」において、北九州市が6年連続でNo.1に選ばれていることを知っているか尋ねたところ、「知っていた」の割合は9.8%となっている。

男女別に「知っていた」の割合みると、男性が20.0%、女性が7.6%と男性の方が高い。

N=510



通信欄に記入された主な意見

<北九州市の子育て環境について>

- ◎北九州市は子供が楽しめる場所が多いと思います！
初めて元気のもりに行ったときは感動しました。福岡市にもこんなところが出来たらいいなと思います。(福岡市城南区/40代女性)
- ◎北九州芸術劇場での子どもたちの体で表現する力、喜びを育成する企画などは知っていました。そういった教育にも力を入れていてすごく羨ましく思っています。福岡市にも、欲しい視点です。(福岡市博多区/40代女性)
- ◎北九州は福岡市内よりも、子供の遊べる施設が充実しているように思います。(福岡市東区/40代女性)
- ◎実家が北九州なので、休みになるたびに、子供と一緒にいきます。子供にも大人にも魅力ある楽しい街で、なおかつ子育てママにとって住みやすい街だと感じます。地元の北九州の友達からも子育てする上で、良いという話をよく聞きます。違うところに住んでいるのでその違いを身をもって感じ、とてもうらやましいです。できることなら今、1番住みたい街です。(福岡市南区/30代女性)
- ◎北九州市は、福岡市に比べて子育て支援が、充実してると思います。輪が広がってほしいです。福岡市は、子育てしにくいです。(福岡市博多区/40代女性)
- ◎北九州市は福岡市東区からも行きやすく、とても魅力のあるところなのでしょっちゅう行きます。(福岡市東区/30代)
- ◎主人の父が住んでいるので、時々、遊びに行ってますが、充実した施設も多く、子育てに良い所だと思います。(福岡市城南区/40代女性)
- ◎北九州市は、勝山公園で子供と遊びました。とても、住みやすそうです。(福岡市城南区/30代女性)
- ◎3年前、元気のもりに行ったときに、北九州市の子育て支援事業に感銘を受けました。他の都市の役所の方らしき人も視察に來たりしていて、北九州市は先進的に子育て支援に取り組んでいるのだろうとその時から注目していました。別の雑誌にも、共働き子育てしやすい街ランキングの7位に入っているのを拝見し、福岡県民として大変嬉しく、ますます応援したくなりました。これからも、すてきな街づくりに向けて頑張ってください。(福岡市東区/40代女性)
- ◎数年前、「元気のもり」と「鉄道記念館」に子どもとを連れて行きました。こんな施設が福岡にもあったらなあ〜と感動しました。昔、仕事で行った魚町銀店街も行きたい。おでんの牛すじが日本一美味しいお店にもまた行きたい。(福岡市博多区/50代女性)
- ◎北九州市は、美術館やホールがたくさんあり、イベントや文化的事業に力を入れていて、魅力的な町だと思います。(福岡市西区/40代男性)

<今回のキャンペーンについて>

- ◎今までは近いけどよく知らない北九州でしたが、子どもが出来て、施設や市の取り組みに興味関心がわいてます。もっと情報発信していただきたいです。
(福岡市南区/30代女性)
- ◎北九州は1度子供たちを連れて遊びに行きたいと思っていました。特集をみて、今年ばかり行こうと決めました!!(福岡市中央区/30代女性)
- ◎北九州は工業地帯なイメージがあるが、調べてみると色々家族で観光出来る所が多く、楽しめます。ただそういった所の認知度が低く、あまり知られていないような。少し勿体無いです。(福岡市東区/30代男性)
- ◎福岡市内に住んでいると、目的が無ければ北九州に行く事はありません。なので、目的作りの為にもキャンペーン冊子は有効だと思います!(福岡市城南区/30代女性)
- ◎北九州のいのちのたび博物館は子供達が大好きで行ったことはあるのですが他の場所に行ったことなかったのですごく気に入りました。すごく楽しそうな施設があるんだなと知れて良かったです。今度行ってみようと思います。素敵なキャンペーン、今後も楽しみにしています!(福岡市博多区/20代女性)
- ◎今回こちらキャンペーンのチラシを見て、「北九州って思っていたよりも子供と遊べる施設が多いんだな」と感じました。福岡市からも高速道路を使って行けば遠くないので、家族でのおでかけの時には北九州も候補に入れていきたいと思います。(福岡市西区/40代女性)
- ◎このキャンペーンで今年の夏に北九州市に遊びに行くことになりました。良いきっかけで良かったです。(福岡市西区/40代女性)
- ◎北九州は年に一度行くか行かないかですが、もっと足を伸ばしたいと思えるような場所や企画があれば嬉しいです。知らないだけかもしれないので情報もどんどん入ってくるといいなと思います。(福岡市博多区/30代女性)
- ◎北九州は近いですが、なかなか行く事はありませんでした。しかし、いのちの博物館以外にも環境ミュージアムやグリーンパーク、イノベーションギャラリーなど子供も大人も楽しめそうな施設を今回知ったので、是非北九州へ遊びに行きたいです。(福岡市東区/40代女性)
- ◎北九州方面に旅行したいと思った時、思いついたのはケーブルカーと門司港あたりでした。観光の街というイメージはあまりなかったのですが、子供向けの学ぶ場所が多いんだなとちょっとした驚きでした。美味しいものもたくさんあると思うので、もっとアピールして欲しいです。(福岡市博多区/40代女性)
- ◎北九州のことは、あまり詳しくありませんでしたが、写真つき、クーポンつきで、夏休みの間中、家族の見やすい場所に貼り出していました。カラーで見やすかったです。また、連絡先や、ホームページアドレスも載っていたので便利でした。(福岡市博多区/40代女性)

editor's fav 「るるぶキッチン」
「どっちに行きたい？ 北九州市・南九州市」フェア

1. 目的

北九州市と鹿児島県南九州市は、平成 20 年 7 月に『南九州市・北九州市交流協定』を締結し、これまで様々な連携を実施してきた。

両市には、それぞれを代表する食材や特産品等が数多くあり、その魅力を首都圏の消費者に PR するため、

2. 内容

- ・東京・赤坂バル横丁にある editor's fav 『るるぶキッチン』にて、両市の食材を使ったコラボメニューの提供や特産品販売等を行う「どっちに行きたい？ 北九州市・南九州市」フェアを実施するもの。
- ・両市の連携による首都圏でのイベント開催は初の試み。

プレスレセプション 出席メディア：34社49名

日時 平成 29 年 8 月 24 日（木） 17:00～18:30

開催会場 editor's fav 「るるぶキッチン」
（東京都港区赤坂 3-17-1 赤坂バル横丁内）

- 内容
- ・地元食材や新メニュー等の紹介
 - ・両市食材を活用したオリジナルメニュー、コラボメニューの試食、地ビール地酒の試飲
 - ・北九州市 秋・冬のグルメプレスツアー開催のご案内（広報室事業）

北九州市・南九州市フェア

開催期間 平成 29 年 8 月 24 日（木）～9 月 22 日（金）

21 日間限定+好評につき期間延長

営業時間：11 時 30 分～14 時、17 時～23 時 30 分

※土曜 11:30～23:30、日曜・祝日 11:30～22:30

開催会場 editor's fav 「るるぶキッチン」
（東京都港区赤坂 3-17-1 赤坂バル横丁内）

内容 両市の食材のオリジナルメニューやコラボメニューの提供
店舗内のスペースでの特産品等の販売

観光パンフレットの配布、観光情報動画の配信 など

北九州市食材 関門海峡たこ、あかもく、合馬たけのこ、さばのぬか炊き、磯っこキャビア、堅パン、門司港地ビール など

editor's fav 「るるぶキッチン」について

◇住所：東京都港区赤坂 3-17-1 赤坂バル横丁内

◇営業時間：11 時 30 分～14 時 17 時～23 時 30 分

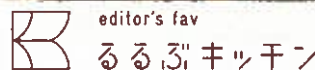
※土曜 11 時 30 分～23 時 30 分、

日曜・祝日 11 時 30 分～22 時 30 分

◇アクセス：赤坂見附駅から徒歩 3 分、赤坂駅から徒歩 5 分

◇定休日：無休（臨時休業の場合あり）

※editor's fav 『るるぶキッチン』は、旅行誌「るるぶ」編集者が全国各地を旅して見つけた
“おいしい”をお届けするご当地連動型バルである。



日本経済新聞「北九州経済特集」

1. 目的 本市の地方創生の取り組み等を全国のビジネスパーソンを中心に高い到達力を持つ日本経済新聞で情報発信する。

2. 媒体概要

概 要	
媒 体	日本経済新聞 朝刊 モノクロ
エ リ ア	全国
購 読 数	3,227,294 (日本経済新聞朝刊ABC公査部数+日本経済新聞電子版有料会員数)
販 売 部 数	2,714,843部
電 子 版	電子版紙面ビューア掲載 (約50万人)
掲 載 日	2017年9月15日

3. 記事・広告等 (見開き2P、7段2割広告)

- ・ 高速道路網の充実
- ・ 北九州空港の利便性
- ・ 国家戦略特区プロジェクト
- ・ セカンドキャリア支援プロジェクト
- ・ 50歳から住みたい地方ランキング1位 など

※広告枠には、ふるさと納税のご案内を掲載

検証・ニッポンの都市力《九州編》
地方創生の成功モデルへ

～北九州市の挑戦～

ふるさと納税のご案内

7段2割

高齢化・人口減少の課題は、地方創生の最重要課題だ。日本の都市の中で最も高齢化が進む北九州市は、将来の日本の縮図でもある。「高齢者が増えるなら、高齢者をもっと活躍できる社会をつくる」という北九州市の挑戦を紹介する。

5つの市が合併して誕生した北九州市

「北九州」と聞いて思い浮かべるイメージは人それぞれだ。かつて日本の四大工業地帯として教科書に載っていたことを思い出す人もいるだろう。しかしかすると九州北部のこと？という人もいるかもしれない。

福岡県北九州市は1963年に5つの市が合併してできた都市だ。門司、小倉、若松、八幡、戸畑の旧市名は現在でも区名に名残をとどめる。

鉄道と港湾の門司、重工業で栄えた小倉、石炭の集散する若松、製鉄業の八幡、紡績と水産の戸畑、とそれぞれの個性あるエリアが合併したため、北九州市のイメージをひとこと言い表すのはとても難しい。「出身

は？」と尋ねると「北九州」ではなく「門司」など区名で答える人が多いのはそれぞれのエリアごとにキャラクターが異なることを市民自身が感じているからだろう。多様な個性が生み出すダイナミズムこそが「北九州市」なのかもしれない。

物価や家賃が安いゆとりある暮らし

近年、様々な統計分析を行った結果、北九州市の「暮らしやすさ」に注目が集まっている。まず物価が安い。全国の県庁所在地と政令市を含めて一番安い。全国の物価平均を100とする

とができる。通勤時間を比べてみると、東京の平均的な通勤時間は片道41.3分だが、北九州市民の平均的な通勤時間は24.4分。満員電車のスレスレもなく、金銭面だけでなく時間的にも精神的にもゆとりが生まれる。

充実の交通機関九州各地や東京へも移動が快適なのは、北九州と九州の接点に位置する

コスト低く、都市機能充実

暮らしやすいまち



中心市街地には役所や商業施設、病院など都市インフラが徒歩圏内にコンパクトに集まる

高齢化率1位 将来の日本の縮図

生活コストが低く抑えられ、都市機能も充実している北九州市だがそれだけでは都市の発展は望めない。経済を動かす、まさに活力を与える労働力が必要だ。だが、多くの自治体が頭を悩ます人口減少と高齢化による労働生産人口の減少問題は北九州市ではかなり深刻だ。

人口当たりに占める65歳以上の老年人口の比率（高齢化率）を20政令市と比較すると、北九州市が28.6%と一番高い。老年人口の「数」は2020年

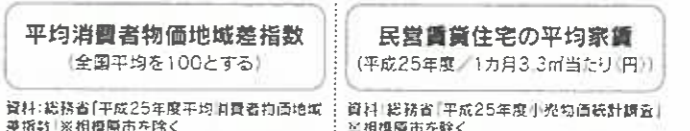
にピークを迎えるが、総人口も減少傾向のため「率」のピークは40年まで続く。老年人口の割合は今後20年上昇し続けるのだ。さらに今年6月発表された日銀北九州支店のレポートでは他の都市に比べ、高齢者の就業率が低いことがわかった。これから北九州市が成長するには、いかに高齢者に社会参加を促すかがポイントだ。

セカンドキャリア支援 シニアに活躍の場

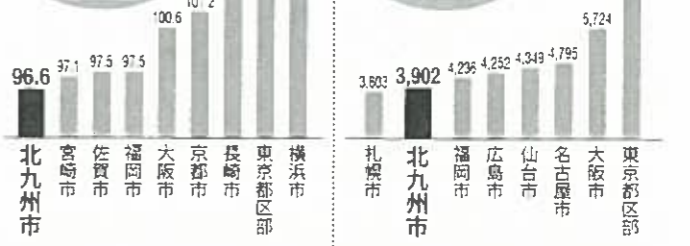
この課題に対し、北九州市は全国でも例がない取り組みを始めた。まず、国家戦略特区の認定を受

け、昨年8月に全国初となる「シニア・ハローワーク」が設置された。高齢者の支援について国と連携し、一体的な事業運営を行っている。具体的には、50歳以上の採用に積極的な企業からの求人情報を集め提供、多様な雇用・就業のマッチングを生み出す。この求人情報は北九州市の東京事務所からも閲覧できる。

また「セカンドキャリア支援プロジェクト」もスタートした。これは首都圏で定年を控えたキャリア層を北九州市に呼び込むプロジェクトだ。50歳を過ぎてても活躍の場を求める



平均消費者物価地域差指数 (全国平均を100とする) 資料:総務省「平成25年度平均消費者物価地域差指数」※札幌市を除く



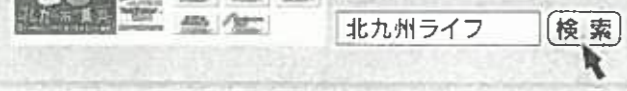
民営賃貸住宅の平均家賃 (平成25年度/1カ月3.3㎡当たり(円)) 資料:総務省「平成25年度小売物価統計調査」※札幌市を除く



北九州市の平均的な通勤時間 24.4分

住みたくなったら!情報サイト「北九州ライフ」へ

北九州市では、官民一体となって定住・移住促進の取り組みが進む。「北九州ライフ」HPでは、移住の際のお得な情報を得られる会員制度「北九州市すまいるクラブ」や支援制度を紹介。実際の移住者の声も掲載している。最近の話題としては、北九州市をPRした「ウソ!ホント?北九州市の真実」という動画を作成、全5回で再生回数が累計20万回を超えた。また、北九州市東京事務所では移住への説明を受けられるセミナーを定期的に開催しており、次回は10月14日を予定している。11月24~26日には、東京都内のアーツ千代田3331において、北九州市の魅力まるごとPRするイベントも開催する。



このように北九州市は他の地方都市と比べても、生活コストが低く、都市機能が充実している。工業地帯のものづくりのDNAは、環境産業や先端分野で世界に冠たる企業を生み出した。出資でもなく都会でもない、ちょうどいいバランスの取れた地方都市。北九州市は、そういうポジションにある。

Kitakyushu City Information

子育て環境日本一を目指します!!

北九州市は、街からほど近いところに海や山などの自然が豊かで、出産や保育、小児医療など子育て支援が充実しています。

また、女性の「はたらく」をワンストップでサポートする「ウーマンワークカフェ北九州」を小倉に開設し、子育てと仕事の両立・創業・キャリアアップ等の色々なニーズにお応えしています。



「ウーマンワークカフェ北九州」 http://www.woman-work-cafeditakyu.com/

- ☆次世代育成環境ランキング…政令市1位
☆合計特殊出生率1.59…政令市2位

北九州市はあなたのセカンドキャリアを応援します!

北九州市では、国家戦略特区で全国で初めて認定された「シニア・ハローワーク戸畑」(設置主体:国)を拠点に、既存の「北九州市高齢者就業支援センター」と連携してセカンドキャリア支援強化に取り組んでいます。

あなたのキャリアを北九州市内の企業で生かしませんか?

北九州市はセカンドキャリア就職を全力で応援します!

「そうだ!北九州で働こう!」 北九州市セカンドキャリア支援プロジェクト 北九州市産業経済局雇用政策課 https://www.shigotomarugoto.info/second-carrier/

新規創業にも新しい動きが出てきた。今年7月、米国シアトル発の起業家輩出を目的とした体験型イベント「スタートアップ・ウィークエンド」が北九州市で初めて開催。事業アイデアを週末の3日間成形にする方法を学び、起業を実際に体験。イベント招致には北九州銀行を筆頭に地元企業が協力。北橋健治・北九州市長もゲストスピーカーとして参加し、日本一起業しやすい街をアピールした。

北九州市の挑戦

高齢者の活躍で労働人口減をカバー

人は多い。そんな人に「第二の職場」として北九州市への移住転職をすすめる。首都圏では転職を希望するシニア層のエントリーを受け付け、北九州市では企業からの採用情報を登録する。地元で暮らしながら働き続けるシニア層に「元気に働いてもらうだけでなく、経験豊かなシニアを積極的に呼び込むこと」で、まちの活力にしようという計画だ。

Table with 3 columns: City, Total Population, Elderly Population, Elderly Rate. Lists cities like Kitakyushu, Fukuoka, etc.

政令市の推計人口および高齢化率



東京事務所では定期的にセミナーを開催

空港・港湾を基点に産業振興 若者のスタートアップも



北九州市長 北橋 健治氏

北九州市では産業振興の面でも様々な取り組みが進む。

北九州市は、本州と九州の結節点に位置し、高速道路、鉄道、船舶、航空機により各地とつながり、西日本

北九州(北九州宮崎間)が全線開通し、移動時間が大幅に短縮された。

土地の分譲が好調に推移している。製造業では古くから自動車産業が盛んな北九州。今後世界的な航空機需要の拡大が見込まれる中、自動車部品製造の高度なノウハウを持つ地元企業に働きかけ、航空機産業への参入を促す取り組みが始

また、官民連携137の企業団体が加盟する「福岡県航空機産業振興会議」が活動中だ。

北九州市×安川電機 産官学の介護ロボット研究

政令市の中で最も高齢者比率の高い北九州市。直面する介護問題を解決するため、産官学による介護ロボット研究が進んでいる。北九州市に本社を置く安川電機は、2013年より経産省が推進する「ロボット介護機器開発・導入促進事業」に参加。市内の介護施設での実証評価を経て、車いすとベッドの

企業ガイド 北九州銀行

北九州銀行は、政令指定都市である北九州市に唯一本店を置く地方銀行だ。市と連携し銀行の枠にとらわれない取り組みが目立つ。「フィンテック普及促進に係る連携協定」に基づくセミナー等の開催や、生産性向上・経営改善の啓発、起業促進サポートが進む。

働きやすいまち

所があり、平成27年医療施設(動態)調査によると、人口10万人当たりの病床数は、20政令指定都市の中で病院一般診療所とも第2位だ。海と山に囲まれた自然環境とあいまって、「田舎暮らしの本」(宝島社・2016年8月号)の「50歳から住みたい地方ランキング」では、北九州市が1位に選ばれた。シニアがのびやかに生き生きと暮らすまちとして評価された。

女子旅プレス

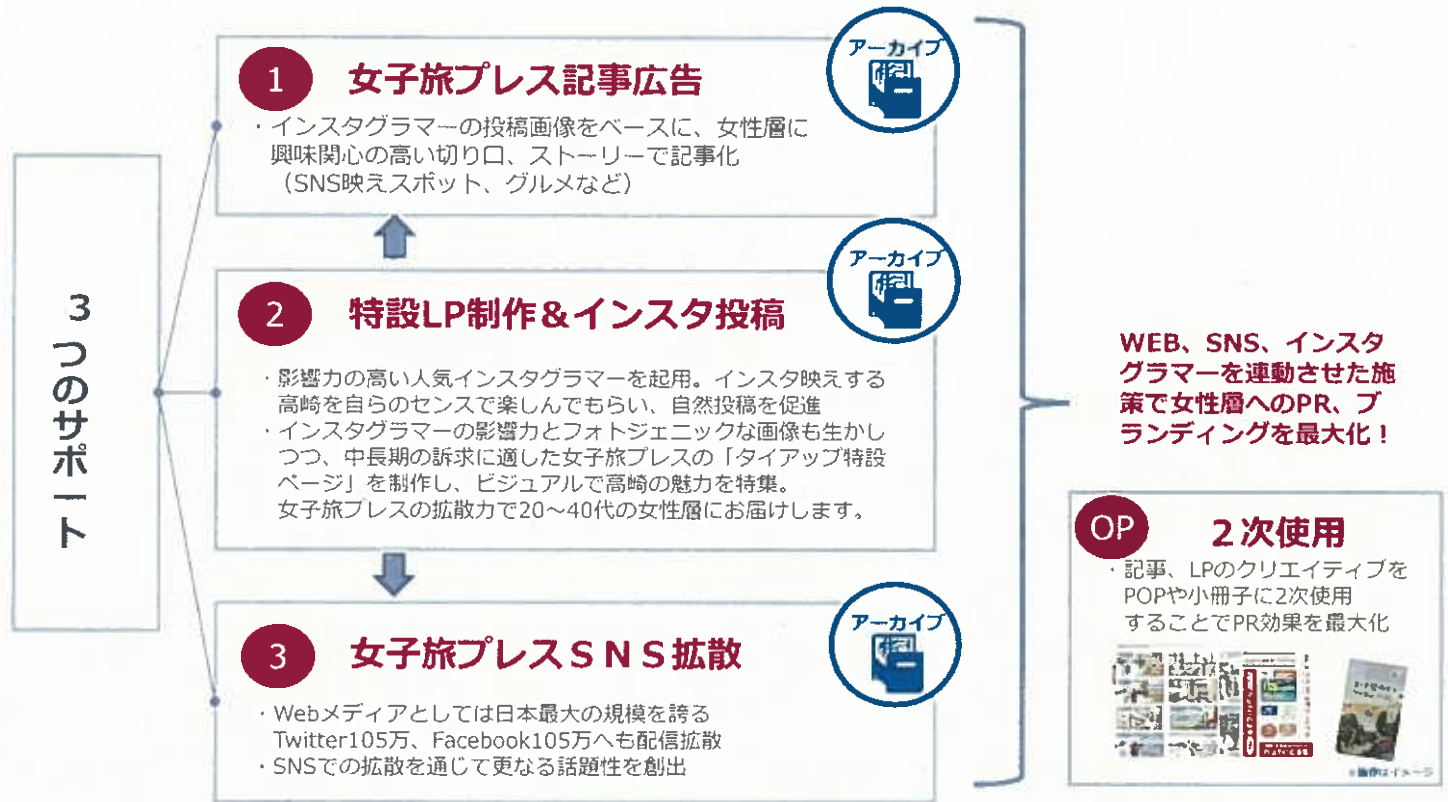
1. 目的 TGC北九州の開催にあわせ、消費意欲が旺盛で、新しいトレンドにも敏感で自己投資を惜しまないF1層（20歳から34歳までの女性）をターゲットに情報発信を効果的に進め、本市の知名度と都市イメージの向上を図り、本市への人の流れを図る。また、楽天トラベルの宿泊キャンペーンとの連動させることで、本市への誘客を促進する。
2. 内容
 - (1) 自社媒体による情報発信

本市の観光地である門司港レトロ地区及び小倉駅周辺においてのF1層が興味を引く（インスタ映えする）スポットで、取材・撮影、記事編集を行い、WEBサイト「女子旅プレス」上で記事を掲載。

 - ①WEBサイト「女子旅プレス」における特設ページの制作
大手SNSInstagramにおいて若者に影響力のあるモデルを起用
 - ②「女子旅プレス」ニュースタイアップ記事配信
 - (2) モデル自身による情報発信

モデル自身のInstagramアカウントによる情報発信を行うことで、情報の拡散を図る。
3. 契約期間 契約締結日から平成29年10月31日まで
4. HP掲載期間
平成29年10月17日（火）～10月31日（火）
※トップページでの掲載保証期間。過ぎてもトップに掲載されることはある。
※トップ掲載終了した場合は、特設ページ一覧に格納。
5. 媒体概要
「女子旅プレス」
女性向けメディア国内最大級の観光記事WEBサイト
 - ・ユーザー層：トレンドに興味関心が高く、旅意欲の高い20～30代の女性
 - ・月間PV（ページビュー）数 1億3,600万件
 - ・月間UU（ユニークユーザー）数 2,000万UU
 - ・Facebookフォロワー数 1,056,000人
 - ・Twitterフォロワー数 1,050,890人

日本最大級の女性読者を有する「女子旅プレス（モデルプレス）」が、「SNS映え確実！人気モデルが旅する北九州（仮称）」と称し、SNS映え、グルメ、体験など女子の大好き3要素をテーマに北九州の魅力をご紹介します。インスタグラマーによるSNS投稿も運動させ、「北九州っていいよね」、「北九州行きたいね♡」等、ブランディングと気分の醸成を狙います。女子旅プレス（モデルプレス）のSNSフォロワー（twitter105万、Facebook105万）でも拡散！



★モーション全体イメージ（記事+インスタ施策+特設LP制作） ※「OP」=オプション施策



ソーシャルメディアによる**圧倒的なリーチ力**

Twitter月間インプレッション **11億9,000万Imp**

※ユーザーの1リツイートに対し×15300が想定imp数を抽出する計算になります。

※2017年6月実績

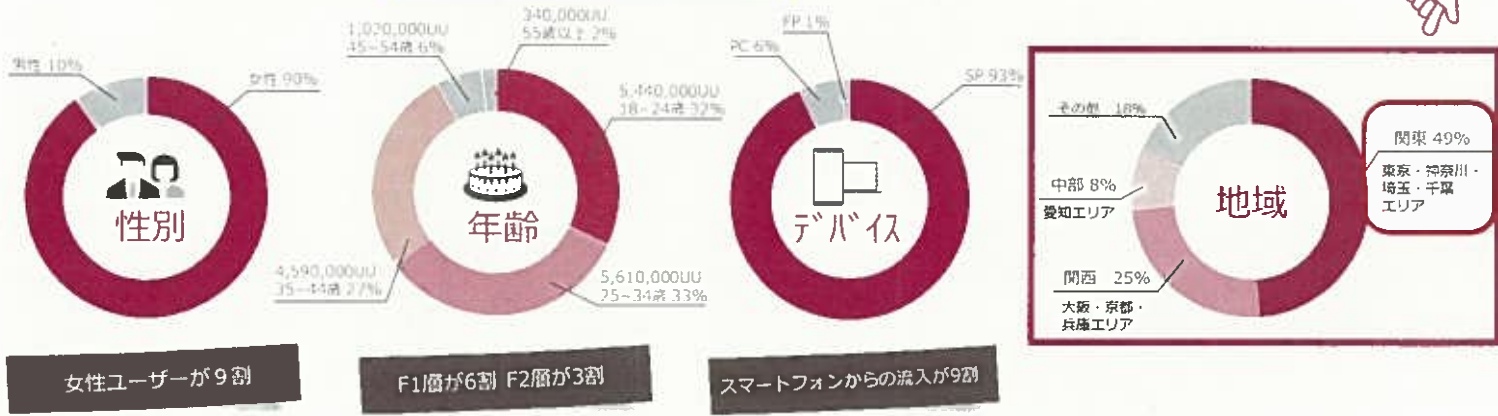


「トラベル (女子旅プレス)」だけでなく、「美容」「ファッション」「グルメ」「コラム」「ディズニー情報」カテゴリ別アカウントも展開中

© 2017 modelpress Inc. All Rights Reserved.

★ **USER | ユーザーの特徴①**

自分らしく、HAPPYでいられるために。旅が好きで情報感度の高い **20~30代の女性**がコアユーザーです。



時間帯別PV推移



© 2017 modelpress Inc. All Rights Reserved.